

単元構想シート

〇〇小学校 第1学年 国語科 単元名「『びっくり！生き物のひみつ』を友達に説明しよう。」

全8時間

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>○事柄の順序など情報と情報の関係について理解することができる。 (知識及び技能(2)ア)</p> <p>◎文章の中の重要な語や文を考え、選び出すことができる。 (思考力・判断力・表現力等C(1)ウ)</p> <p>○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に して、思いや考えを伝え合おうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>二つの側面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>三つのプロセス</p> <p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	--	---	---

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	「読み解く力」を育成するための 手立て	「読み解く力」の育成に重点をおいた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>①学習前より、生活科「生き物ずかん」を实践し、生き物に興味をもたせる。 並行読書として関連する図書本を置き、「生き物のひみつ」について触れる。</p> <p>①単元の学習内容や目的を理解し、学習の見通しがもてるようにする。 □児童が見通しをもって取り組めるように、教師が生き物の秘密を説明するモデルを提示する。</p> <p>②3つの生き物の中から「一番びっくりしたこと」を出し合い、児童と共に学習の計画を立てる。 □各自が見つけた「びっくり」を交流する中で教師が視点ごとに類型化し、単元の目標を達成するために必要なことを児童と共に整理する。</p> <p>③教材文の「はまぐり」で「びっくりしたこと」とその理由について友達と交流したことを生かし、自分が選んだ生き物の「びっくり」探しをする。 □教材文で見つけた視点を生かし、「びっくりしたこと」を伝えるために必要な語や文を考え、選び出す。</p> <p>④教材文の「たこ」で「びっくりしたこと」とその理由について友達と交流したことを生かし、自分が選んだ生き物の「びっくり」を蓄積する。 □「なにが」「どのようにかかっているか」という事柄が「はまぐり」と同じ順で書かれていること捉える。さらに、教材文を縦に並べて掲示することで、同じ事柄が同じ文型で書かれていることを視覚的に捉えられるようにする。</p> <p>⑤教材文の「もくずしよい」で「びっくりしたこと」とその理由について友達と交流したことを生かし、自分が選んだ生き物の「びっくり」の中から友達に伝えたいものについて、考えを整理する。</p>	<p>◎目的意識をもつ工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の始まりから友達に伝えたい「生き物」を決め、自分が見つけた生き物の「びっくり」を「生き物びっくりカード」に継続的に書きためていく。 ・他の学級の友達に自分が見つけた「びっくり」とその理由を説明するという言語活動を設ける。 <p>◎学びを実感できる学習展開の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材を使った学習と自分で選んだ本で考える学習を毎時間往還的に扱うことで、教科書教材で「事柄の順序など情報と情報の関係」について理解したことや「びっくりの視点」について着目したことを、自分で選んだ本の読みにも生かす。 	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <p>・「びっくり！生き物のひみつ」を説明するために、教科書教材や図書資料から必要な情報を取り出している。</p> <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <p>・「びっくり！生き物のひみつ」を説明するために、必要な情報を選んでいる。</p> <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <p>・重要な文や語を選んで、「びっくり！生き物のひみつ」について説明している。</p>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <p>・友達とやりとりをする中で、「何を」「なぜ」説明しようとしているのかを理解している。</p> <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <p>友達とのやりとりをする中で、共通点や相違点をもとに視点を見出し、自分の説明に必要な方法を整理している。</p> <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにし、創造したりする</p> <p>・友達とのやりとりの中から良いところを取り入れ、自分の考えを深め、創造している。</p>

<p>□教科書教材文にある3つの生き物の共通点を捉え、児童の「びっくり」の視点を整理する。</p> <p>⑥自分で選んだ生き物の「びっくり！生き物のひみつ」について、ペアで交流し、自分の考えを確かなものにする。(本時)</p> <p>□自分が見つけた「びっくり」とその理由を考えられるように、本時までには児童と見つけてきた「びっくり」の視点と、うまく伝えるために大切にしてきたキーワードを確かめる。</p> <p>□4人グループでペアを交代しながら複数の友達に交流する。</p> <p>□友達と交流する中で出てきた「うまくいかなかったこと」、「迷い」や「困っている」ことを学級で共有する。</p> <p>⑦自分が見つけた「びっくり」とその理由について、整理する。</p> <p>□前時に全体交流で得た考えを基に、発表に向けてさらに必要なものを準備したり、リハーサルしたりする。</p> <p>□友達に説明したいことを整理できるように、前時に選んだ3つの事柄でよかったかどうかを振り返る。</p> <p>⑧「びっくり！生き物のひみつ」について、他の学級の友達に説明し、単元での学びを振り返る。</p> <p>□「びっくりを伝えたい」という思いを高めるために、1年生の他の学級の友達に発表できる場を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な相手に向けて、自分が見つけた「びっくり」とその理由を言葉にして説明することを繰り返す活動を行う。自分の体験や他の動物と比べたり、根拠となる語や文を抜き出したりし、互いに自分のびっくりを説明し合うことを何度も繰り返すことで重要な語と文を関連させながら徐々に言語化できるようにする。 ・複数のペアで交流した際に「うまくいかなかったこと」、「困り」や「迷い」を共有し、全体で解決策を考える時間を設けることで、自分の考えをまとめたり、必要な情報を見直したりできるようにする。 ・学習してきたプロセスを分かりやすく掲示し、立ち戻ったり比較したりすることで知識を再構築し、自分の考えを深められるようにする。 		
--	---	--	--